

ほたるっ子

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 10
R4. 5. 2
(文責:校長 菅家 篤)

光る眼差し

授業における子どもたちの眼差しが、近頃、とても光り輝いて見えます。学ぶことを楽しみ自ら学ぼうとする心情が目の輝きに表れているのを感じます。右の写真は6年生の様子です。

やっぱり学校は、学びの場であり、知的な追究・追求の喜びを味わい、仲間と共に伸びていく場でなくてははいけません。今、磐梯第一小学校は、そんな空間になり始めています!



支え合う子

左の写真は、3年生の様子です。友達同士で教え合ったり、考えたりしています。

教師が指示しなくても、このような学び合いが自然にできるのは、互いに支え合える学級の人間関係が良好でなければできないことです。

学習も団体戦です。学びに向かうよい雰囲気の中でこそ、確かな学力が身に付きます。

幸せ気分でするしつけ <その1>

～ダメなことは言えば言うほどダメになる～

“幸せ気分”でしつけができる方法を、ある親子のエピソードを交えながら数回にわたりシリーズで紹介していきます。シリーズの最後には、“幸せ気分”でしつけができるポイントが見えてきます! さて、こんな親御さんの嘆きをよく聞きます。

「ゲームに夢中で何時間もやっています。『いい加減にしなさいよ』と言うのですが、聞きません。

あまり言うと今度は隠れてやります」

「何回注意しても、ちっとも部屋を片付けようとしません。足の踏み場もないほどの散らかりようですが、『片付けなさい』と言えば言うほどひどくなるようです」

「挨拶だけはきちんとしようと言うのですが、言っても言ってもやろうとしません」



「何度言えばわかるの」「言ったでしょ!」

私もそうですが、こんなことを親はついつい子どもに言ってしまいがちですね。

ダメなこと、やってほしくないことを何度言っても効果がないという経験は、多くの親にあると思います。実は、**言えば言うほど、子どもは素直に親の言うことを聴かなくなってしまうのです。**

では、どうしたら、やってほしいことをやってくれるようになるのでしょうか。その方法を次号以降、少しずつ紹介していきます。